



2018年6月 福祉ファッションショー



社会福祉HERO'S2019



コロナに負けるな！ 動画

ひとりひとりが 社会福祉ヒーローズ

特別養護老人ホーム祥雲館で働く介護福祉士 中嶋ゆいは、昨年12月、東京渋谷で「日本一の福祉人（社会福祉をチェンジする情熱にあふれる人）」を決めるイベント「社会福祉ヒーローズ2019」にエントリーし、全国各地の社会福祉に携わる多数の若手職員

の応募の中から、1次審査（書類選考）・2次審査（オンライン面接）を経て、見事、社会福祉ヒーローズ賞を受賞することができました。社会福祉ヒーローズとは、全国社会福祉法人経営者協議会が2018年から「社会福祉の仕事は、クリ

エイティブで面白い！」そんな思いを胸に、社会福祉の現場で新しい取り組みに挑戦をしている若手スタッフの声を、これから福祉を担う学生たち、そして社会福祉に触れたことのない人たちに伝えるイベントです。

社会福祉ヒーローズ2019 でのパフォーマンス

中嶋は、「介護の現場からファッションショーまで笑顔の輪をプロデュースする」と題して、介護の魅力や熱いメッセージとして発信しました。8分間という限られた時間でしたが、2年前にプロジェクトリーダーとして開催した福祉ファッションショー、そして昨年、地域を巻き込んでやり遂げた「祥雲館トリノコレクション2019」の経験から、介護現場のやりがい、介護の醍醐味を全国の若者たちへ伝えることができました。

また、社会福祉法人と民間企業、地域団体等が協催することによって、これまで交わることのない人々がファッションを通じてつながり、笑顔の輪が広がっていく感動を全国の若者たちへ届けることができました。

また、社会福祉法人と民間企業、地域団体等が協催することによって、これまで交わることのない人々がファッションを通じてつながり、笑顔の輪が広がっていく感動を全国の若者たちへ届けることができました。

社会福祉の魅力を発信する！

社会福祉ヒーローズは、高齢・障がい・保育といった多様な専門領域の福祉事業者が集まっています。専門領域は違っても、福祉の力で未来を明るくする！という熱い想いを持ち、全国の仲間と共に社会福祉の魅力を発信していきたいと思っています。私たち社会福祉法人で働く職員一人一人が自分たちの仕事に誇りを持ち、魅力を発信していくことが重要だと考えます。

新しい挑戦

新型コロナウイルス感染症拡大で、社会福祉の現場で働く人たちが、利用者の安全を守るために、様々な工夫を行っています。この動画は、社会福祉の現場で働く人たちの、新しい挑戦を、全国の仲間と共に発信していきます。

新型コロナウイルス感染症予防対応について

緊急時対応の解除に伴い、6月から徐々に入居者家族の面会を段階的に再開しています。これからも、新型コロナウイルス感染症拡大の第2波、第3波を見据えて、日々の行いには細心の注意を払いながら施設運営を行ってまいります。地域の皆様、関係者の方々におかれましても、ご理解ご協力をお願いいたします。

令和2年7月 祥雲館感染症対策委員会

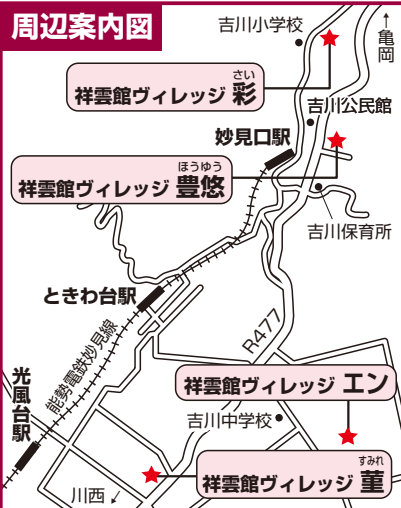


第87号
発行：令和2年7月1日

社会福祉法人 豊悠福祉会
祥雲館
人生の学校

〒563-0101
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1
TEL：072-733-2301(代表)
FAX：072-733-2303

番号をお間違いないようご注意ください



7月・10月の予定

新型コロナウイルス感染症拡大予防に伴い、3月以降の地域イベント等をすべて中止しておりましたが、感染拡大防止のガイドライン等を遵守しながら、8月より徐々に再開させていただきます。

【笑雲café】10月24日(土) 10時～12時予定

場所：En-GAWA（東ときわ台6-12-8）

※オンライン開催になる可能性もあり（次号の笑雲でご案内します）。

【祥雲館町おこしプラザ】森の芸術祭2020

11月中旬開催予定（内容未定）

【地域交流スペースEn-GAWA】

8月1日より再開予定しております。

※利用曜日・時間に変更になる可能性があります。

後日、ホームページまたは掲示板でお知らせします。



ボランティア活動再開

祥雲館ボランティア活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。4月より中止しておりました祥雲館ボランティア活動を、8月1日から再開します。

つきましては、新しい生活様式を取り入れた形で活動していただけるよう、祥雲館ボランティア活動におけるガイドラインを作成しました。詳細は後日ホームページにてご案内するとともに、ボランティアの皆様へは、担当職員より順次ご案内、ご説明させていただきます。また、ご質問や新規登録のご依頼などありましたら、下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

得意なことを社会福祉にいかしてみませんか。

問合せ先：祥雲館地域交流委員会 ☎072-733-2302（担当：ゴンジン）

TOPICS

★ショートステイ・リビング

モンゴル出身のゲレルさんが炊飯器でケーキを作ってくれました。初めて一人で作ったそうです。利用者さんも喜んでくださり、いつかモンゴルのおやつを作ってくれるかも!? と期待!



★リビング・シェア祥雲館あじさい

コロナの影響で自宅で過ごされている利用者さんに、いつもデイサービスで行っている体操をご自宅でもやっていただきたく、ホームページで公開しています。



★放課後等デイサービスほたるぼし

5月、猪名川の出会い公園へ行き、天気がよかったので川遊びをしました。川魚を捕まえ、ほたるぼしで飼育することになりました。公園で出会ったポニーも可愛かったです。



★セカンドリビング

天気が良かったので、談話室前を解放して青空喫茶を開きました。5月の爽やかな日差し、ウグイスの鳴き声。閉じこもりがちな毎日に少し気分転換できました。



TOPICSはホームページでも詳しくご覧いただけます。

祥雲館

検索

facebookはこちら⇒



祥雲館 facebook

検索

次号は、令和2年9月25日～30日配布予定です。

ホスピタリティ委員会

接遇マナーの基本から、気配り、心配りの定着を目指して、ホスピタリティ活動を始めて7年目になります。毎年、様々な取り組みを行ってきましたが、環境の変化に対応しながら新たな活動を行っています。

今年度は、祥雲館の職員



がホスピタリティの基本に立ち返れるような活動を行っていききたいと思っています。そして、職員一人一人のホスピタリティが祥雲館の文化となっていくと思っています。

今年度は、ホスピタリティの1年、でいきたいと思います。

【今年度の活動方針】

①ホスピタリティの理解の促進

②ホスピタリティを施設文化として定着

ホスピタリティ委員会
委員長 山之口 智清

障がい支援サービス

ひまわりでは、就労継続支援B型のサービスを提供しています。ここでは、利用者の様子や、その日の体調などに合わせて、個人のペースで働きやすい環境を提供し、就労を通じて社会生活を送るために必要な能力の向上を目指しています。

作業の一つとして、タオルのタグ付け、梱包の作業があります。毎朝、段ボールいっぱいタオルが搬入され、その確認をすることから作業が始まります。利

用者の齊藤さんは、毎朝、自主的にタオルの入った重い段ボールを、私たち支援員と一緒に運んでくださいます。以前はあまり感情を表に出さず、クールで黙々と作業されていた齊藤さんですが、最近では表情も明るくにこやかに、気さくに話かけてくれるようになりました。そして、身の回りのことや洒落にも関心を持たれるようになりました。



私には、障がい者支援事業所に携わって3年になります。日々の利用者との関わりの中で、私も利用者と一緒に成長していると思います。

編集後記

新型コロナウイルス禍の自粛で、私も家庭と職場の往復の生活を淡々と過ごしてきました。日常生活は送れても、友達とカフェにも行けず、おしゃべりをする機会もなく、何か物足りない。多くの人やインターネットで繋がりが、離れていても顔を見ながら話ができ、1年前では考えられないことが簡単にできるようになりました。私たちも、地域の方とリアル＆リモートを融合させた新しい形のコミュニケーションを模索していきたいと思っています。

広報担当 滝本